

平成27年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:ベーシック

主担当:主任研究員 斉藤 容子

	6月2日(火)	6月3日(水)	6月4日(木)	6月5日(金)
09時30分～10時45分	1限	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 斉藤 容子 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする  又は	災害をもたらす自然現象の理解(地震・津波) 清野 純史 人と防災未来センター 上級研究員 (京都大学地球環境学堂 教授) ・地震発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える	災害過程論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 ・災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 斉藤 容子 人と防災未来センター 主任研究員	都市の復興概論＋復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター 上級研究員 (兵庫県立大学 特任教授) 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・ARを利用しながら阪神・淡路大震災の被災地を歩き、復興過程と様々な取り組みを学ぶ	危機管理総論 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員  ・危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 関西大学社会安全学部 教授 ・災害対応にあたって使える権限・財源を理解する ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する
13時15分～14時30分	3限 我が国における災害対応の動向 四日市 正俊 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(事業推進担当) ・東日本大震災の経験を踏まえて、最新の国の災害対応体制について理解する	災害をもたらす自然現象の理解(風水害) 川池 健司 京都大学防災研究所 准教授 ・風水害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える	民間企業の災害対応 水島 重光 千葉県生活協同組合連合会 災害対策委員会アドバイザー(減災塾塾長) ・災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について理解する	リスクコミュニケーション概論 吉川 肇子 慶応義塾大学商学部 教授 ・人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を理解する
14時45分～16時00分	4限 地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センター-DisasterManager (芦屋市企画部 市長室長) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 斉藤 容子 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする  又は	防災・減災カフェ 「大規模災害における行政の対応の実態」  〔震災当時の行政関係者〕 畑 文隆 西宮市開発指導 課長 (元南三陸町復興事業推進課出向)	全体討論会 斉藤 容子 人と防災未来センター 主任研究員 等 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ
16時15分～17時30分	5限 災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋大学 減災連携研究センター長・教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をおとして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える	都市の復興概論＋復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター 上級研究員 (兵庫県立大学 特任教授) 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・ARを利用しながら阪神・淡路大震災の被災地を歩き、復興過程と様々な取り組みを学ぶ		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成27年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートA

主担当:主任研究員 古本 尚樹

	6月9日(火)	6月10日(水)	6月11日(木)	6月12日(金)
09時30分～10時45分	1 限 (センター展示見学:希望者のみ)	災害対応概論(初動期) 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課危機管理係担当係長) ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	市民社会ワークショップ 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 本荘 雄一 神戸都市問題研究所研究部長 山本 康史 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	災害対応ワークショップ 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける
11時00分～12時15分	2 限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員	災害対応概論(応急期) 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課危機管理係担当係長) ・応急対応期の対応と課題について理解を深める		
13時15分～14時30分	3 限 災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センター主任研究員 ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	災害対応概論(復旧・復興期) 越山 健治 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学 社会安全学部 准教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹 (株)日通総合研究所取締役(教育コンサルティング部担当兼教育コンサルティング部長) ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 三上 晴由貴 (新潟県福祉保健部医務薬事課副参事(地域医療係長)) ・災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める
14時45分～16時00分	4 限 災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 人と防災未来センター上級研究員 (済生会千里病院 千里救命救急センター) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	災害対応演習(クマ演習) 近藤 伸也 人と防災未来センターリサーチフェロー (宇都宮大学 地域連携教育研究センター 准教授) ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センターリサーチフェロー (名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	全体振りかえり ワークショップ 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5 限 危機対応時の組織論(情報システム) 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システム(GISなど)の活用方を学ぶ	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 安富 信 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授) 川西 勝 人と防災未来センターリサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成27年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エクスパートB

主担当: 研究員 菅野 拓

	6月16日(火)	6月17日(水)	6月18日(木)	6月19日(金)
09時30分～10時45分	1限 (センター展示見学:希望者のみ)	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸大学 社会科学系教育研究府特命准教授) ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター震災資料研究主幹(京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・主席 コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 菅野 拓 人と防災未来センター研究員	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	
13時15分～14時30分	3限 災害時の健康危機管理 高田 洋介 人と防災未来センター主任研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	災害時要援護者への対応 立木 茂雄 人と防災未来センター上級研究員 (同志社大学 社会学部教授) ・災害時要援護者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授・センター長) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	防災・減災の普及啓発 竹村 茂也 三重県防災対策部防災企画・地域支援課地域支援班長 後藤 武志 飯田市危機管理室防災係長 先進自治体の地域に向けての防災・減災活動について学び、地域への発信についての示唆を得る
14時45分～16時00分	4限 災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	災害情報の受発信手法 近藤 誠司 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学社会安全学部准教授) ・被害情報の受信(収集)と発信(広報)およびこれらを総合した情報共有のあり方について学ぶ		全体振りかえりワークショップ 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	被害認定業務 田中 聡 常葉大学社会環境学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	